

## 平成 29 年度丹波市健康診査申込 受けてください、命を守る大切な健診

健康を脅かすがんや生活習慣病を早期に見つけるため、健康診査を行っています。命を守る大切な健診ですので、必ず受けてください。個人で、胃・肺・大腸の3つのがん検診を受けると1万円以上かかりますが、丹波市がん検診では、半額以下で受診できます。

2月当初に「平成29年度丹波市健康診査申込書」を送付します。受付期間は2月10日（金）までです。申込書が届いたら、すぐに健康課または各支所に提出してください。

◆3種（肺・胃・大腸）セットの場合

■医療機関健診  
3,200円



■集団健診  
1,300円



※丹波市国民健康保険加入者および75歳以上の方はさらに助成します。（下表参照）

健康課（氷上保健センター内） ☎ 82 - 4567

### ■主ながん検診

検診内容	対象者および自己負担金	
	集団健診	医療機関健診
<b>胃がん</b> 1. 自覚症状の確認 2. バリウムを飲む 3. 胃のレントゲン撮影 レントゲンで胃の病変を映し出す検査	35歳以上 <b>700円</b> ※丹波市国保加入者と75歳以上の方は無料	40～74歳 【3種（肺・胃・大腸）セット】 丹波市国保加入者 <b>1,600円</b> 国保以外の保険加入者 <b>3,200円</b>
<b>肺がん</b> 1. 喫煙歴の確認 2. 胸のレントゲン撮影 胸のレントゲンで、肺の病変を診断する検査	20歳以上 <b>100円</b> ※丹波市国保加入者と65歳以上の方は無料	国保以外の保険加入者 <b>3,200円</b> 【2種（肺・大腸）セット】 丹波市国保加入者 <b>200円</b> 国保以外の保険加入者 <b>800円</b>
<b>大腸がん</b> 1. 採便容器に便をとる（2日分） 2. 検査機関に提出する 自分で便をとり提出する検査	20歳以上 <b>500円</b> ※丹波市国保加入者と75歳以上の方は無料	丹波市国保加入者 <b>200円</b> 国保以外の保険加入者 <b>800円</b>
<b>乳がん</b> 1. 問診 2. マンモグラフィ 乳房のレントゲン（マンモグラフィ）でしこりなどを発見		41歳以上の奇数年齢の女性（平成30年3月末現在） <b>2,100円</b> ※75歳以上は無料
<b>子宮頸がん</b> 1. 医師による診察（内診） 2. 細胞診 検査時間は15分程度		21歳以上の奇数年齢の女性（平成30年3月末現在） <b>1,700円</b> ※75歳以上は無料

※75歳以上の方の胃がん検診は医療機関での個別検診です。

※丹波市国保加入者で特定健診を申し込みされていない方には、申込確認の電話をかける場合があります。

### 市長コラム 丹波語り ふるさとの 忘れ得ぬ思い出



新井小学校4年生の時やったかな。大新屋の奥の大池まで校外学習に出かけた時のこと。大変天気の良い秋の午後で、池はすっかり干上がり、底の泥は固まり、色んな形に割れていた。誰かがポツリと言った。「〇〇県の形に似てえへんこ？」「そういうたら、これは△□県みたいやで。」「そうや！これで日本地図つくってみやへんこ？」

当時のクラスは、大変ノリが良かった。最初は3人ほどだったが、1人増え2人増え…「関東平野はこのあたり、緑の草を置いてこつと。」

「信濃川はこのあたりかなあ。」

「富士山は日本の山やさかい。」

1時間程すると土のかけらと草の大きな日本地図ができあがった。1年生から6年生まで、クラス替えもなく、これといっ

たケンカもなく、思い出すほどに微笑ましい6年間。自発的に学ぶ楽しさを体得した瞬間だったと確信する。

昭和30年代、学習教材に恵まれているとは言えない時代だった。けれどふるさと丹波には忘れられない温かい思い出がある。50年以上経っても鮮やかによみがえる記憶を焼き付けてくれた。

「ふるさと」は遠きとありて思ふもの…室生犀星の詩を超越して、Uターンの道を選んだのは実にこの日本地図のせいかもしれない。ちなみに、子どもたちの大土木作業を檢分された先生は「よーっ、ええもん作ったのうー！」たいそう感激され、褒めてもらった私たちは鼻高々だった。



丹波市長 谷口進一

## 丹波市 地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

### 新エネルギーを生かしたまちづくり

#### もみきじゅんいち 榎木順一さん vol.3

経歴：大阪市出身。大学卒業後、図書館に勤務。副業として文章を書く仕事なども経験後、フリーランスとして独立。  
連絡先 ☎ 82-1290（市民環境課）



以前住んでいた大阪では、木よりビルのほうが多いのではないと思うほどの環境で、自然に触れる機会が全くありませんでした。一方、丹波市は75%が森林という土地柄。そして、自分の仕事は森林に関わる仕事。これまでに経験したことのないことばかりで、驚きの連続ですが、しっかりと頑張りたいと思います。



出荷された原木を薪に加工中

はじめまして。4月から地域おこし協力隊として新エネルギーを生かしたまちづくりに携わっている榎木順一です。NPO法人丹波グリーンパートナーとともに、市民参加型森林整備の仕組み「木の駅プロジェクト」のサポートをしています。

具体的な業務は、木の駅プロジェクトの事務的な作業です。出荷される原木の出荷伝票の管理や木の駅参加者を増やすための広報活動などがその内容です。NPO法人グリーンパートナーのサポートとして薪販売の補助などもしています。今後は、加工作業を委託し、生産性を上げていくのが目標です。